



新型コロナウイルスの感染予防にかかわる臨時休業がはじまり、2ヶ月が過ぎようとしています。人間が、コロナだ・休校だ・緊急事態宣言だといっている間にも、季節は確実に巡っています。外の景色をながめてみてください。季節はさくらから新緑へとかわりつつあります。

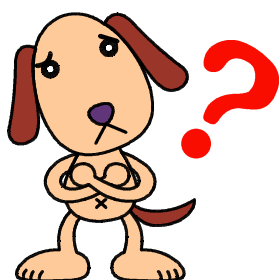


新型コロナウイルス対策で外出が制限され、家で過ごす時間が長くなると、いろいろ問題も出てくるようです。外はウイルスの嵐。それをしのぐ家のなかでも「勉強しなさい！」の嵐では救いようがありません。また、満員電車の中がウィルス感染の大きな原因だといわれています。最近テレワークのためか、人が少なくなりつつありますが、それでも他人のくしゃみやせきが気になります。こちらが花粉症のためにくしゃみでもしようものなら、となりの席の人が思いっきりいやな顔をします。コロナウィルスの長期化・深刻化は、人の心の荒廃まで招きかねません。いまこそ助け合いと励まし合いのときとしたいものです。

具体的には、自分の気持ちをうまく相手に伝える工夫のひとつとして、主語を「あなた」から「わたし」にかえてみてはいかがでしょうか。「あなたは手を洗うべきだ。」ではなく、「わたしはあなたの健康が心配、だからわたしは手洗います。」といった具合。だれも完璧にできる人などいません。いきなりゼロから10にするのは無理です。

1, 2から始まり3, 4にしていくくらいでいきましょう。

「これは歴史の教科書に載るでしょうね」、社会科の先生はそんなふうに言っています。世界中の人々が同じ危機に直面しており、だれにとっても逃げ場はありません。感染拡大でわたしたち人類は「運命共同体」であることを実感させられました。この危機に、むしろ「人々は助け合って危機を乗り越えた」「親子げんかは減った」という結果を残したいものです。これもまたウイルスとの闘いですから。



緊急事態宣言が発令されてからというもの、町中の飼い犬たちが一斉に歩かなくなったそうです。犬に事情をきいてみると、ストライキをしているとのこと。

「緊急事態宣言以降、ボクたちの散歩の回数が突然増えたような気がする。一日5回は多すぎるヨー」